

# 鴨川探険！再発見！

## 第51弾「春の鴨川ウォーク 水辺の自然観察会」

日時 2019年5月25日(土) 10時～12時

場所 京都府土木事務所・鴨川北山橋下流の左岸

参加者 こども16名 大人11名

当会観察スタッフ4名 京都府スタッフ(河川課、京都土木)4名

急速に暑さがやって来て、この日は30度を超える日となりました。熱中症対策をしっかり呼びかけての観察になりましたが、参加した子どもたちは元気で捕虫網や虫かごを持って元気そのもの。お父さんやお母さんもそれに負けないくらいに活動的です。



今回は春の草花や木の葉を葉にして貰おうと観察の途中に参加者に集めるようにお願いしました。これは効果絶大でした。指導員が草や木の葉を見つけて話を始めると、親子で熱心に聞き入り、葉にしようと集めていました。集めていくといろいろなことに気づき、葉のためだけでなく、観察が広がり色々なものを見つけてくれました。草刈りされたばかりであり花は多くはなかったですが、ヘラオオバコの花の群生が土手につんつん立っている姿は面白いのか結構な人気。赤紫や白のニワゼキショウはきれいでかわいいのでお母さんや子どもたちに人気。ウマノアシガタのてかてかの花びらも興味津々、でも毒だと聞いて驚き。土手にタンポポを見つけタンポポ笛を教えて貰い賑やかにブーブーと鳴らしていました。お母さんの中にはシロツメクサで冠を作っておら



「虫がいるよ！」



サシガメがテントウムシをたべている

れる方がありました。こどもの時に教えて貰われたのでしょうか。一緒にいた子も、大人になったらこどもに教えてくれるかな？草花遊びが自然を身近にして、親子がつながり、代々受け継がれるというのは人の暖かさを感じますね。男の子達は矢張り虫が好きで、まだ小さなバッタの仲間や、芋虫、毛虫など見つけては虫かごに入れていました。ちょっと変わった虫を見つけました、葉っぱに出来たこぶのようなものを不思議に思い、こぶを開くと小さな虫が…。虫が葉っぱに卵を産み付け、植物がその刺激で細胞を変化させこぶじょうにしてとじ込めました(虫こぶと言います)。虫の卵はその中で孵り、それを餌として生活する何とも自然界の不思議です。

大きなエノキの下で休憩、その下で四つ葉のクローバーを見つけました。みんなで探すと一杯見つけました。みんなに何かいいことあるかな？

部屋に戻って採ってきた草花や木の葉で葉づくり。ワイワイガヤガヤ親子や友達同士で楽しく見せ合い記念の品が出来ました。カラスムギの種に水をかけ、種が動くのもやってみました。植物が動くことにびっくり！どうして動くのかな？みんなで一緒に考えました。その答えは…。お母さんやお父さん、子どもたちが笑顔で「さようなら」といって帰っていったのが嬉しい一日でした。(清)

追伸 筆者は見逃してしまいましたが、その日の5時55分にKBSで鴨川探険!再発見!は報道されました。



葉づくり 鴨川でとってきた草花や木の葉でつくります



タンポポで葉づくります



カラスムギの種に水をかけてみました。「種が動く!!!」